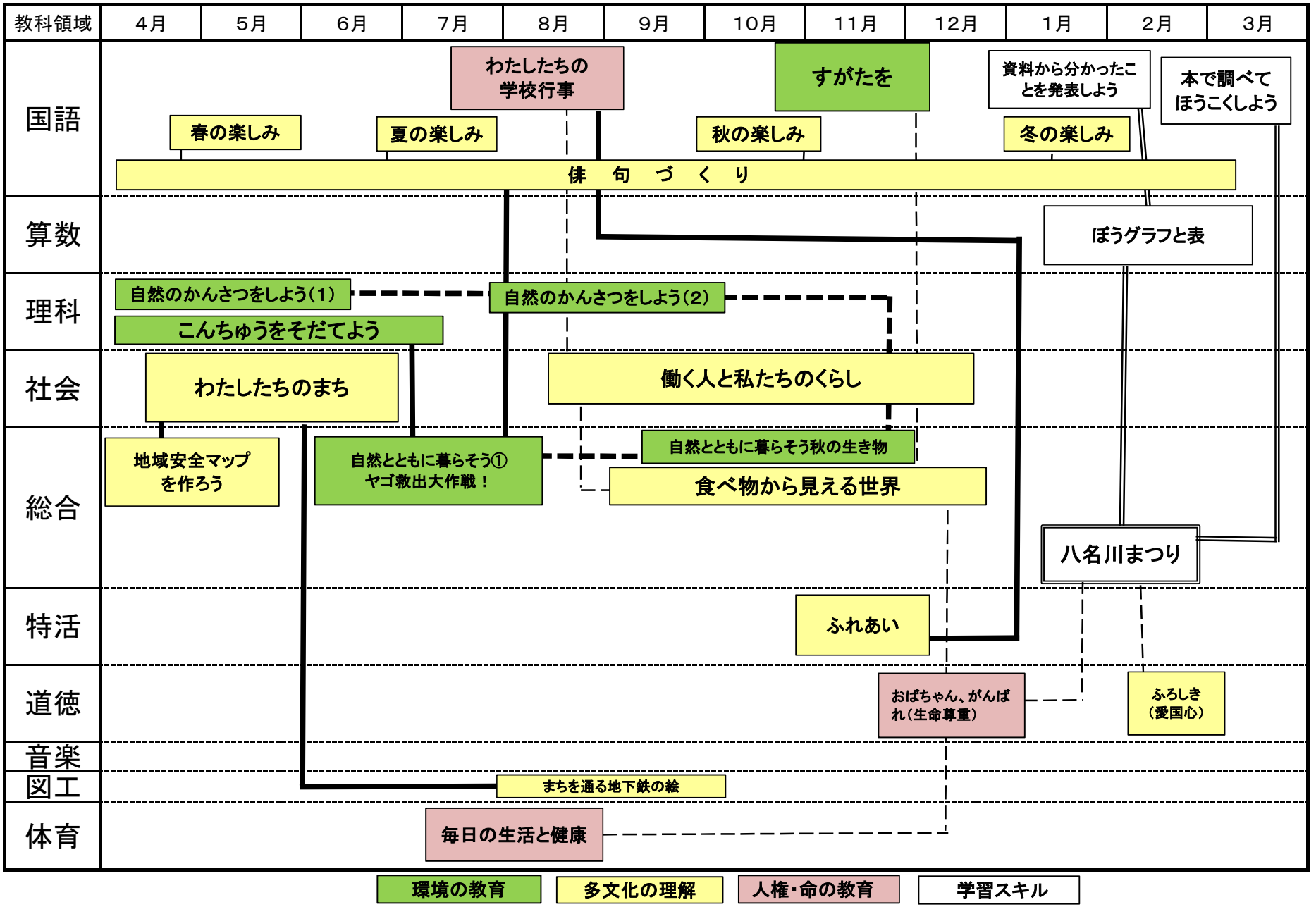
第3学年　ESDカレンダー

江東区立八名川小学校



江東区立八名川小学校

平成25年度　総合的な学習の時間　第３学年　指導計画

４月　５月　６月　７月　８月　９月　１０月　１１月　１２月　１月　２月　３月

単元名「地域安全マップを作ろう」（２０時間）

【ねらい】
地域安全マップを作ることで、自分たちの地域についてまとめ、安全な場所と危険な場所をみつけることができる。

【学びに火をつける】
○町の「安全」と「危険」という見方を知る。
【調べる】
○地域の「安全」と「危険」という視点で調べる。
【まとめる】
○グループごとに地域安全マップを作り、安全な場所とそうではないところを見付ける。
【つたえ合う】
○地域安全マップを八名川小学校に掲示し、発表する。

【地域人材・関係機関】
○江東区危機管理課
○東京大学大学院教育学研究科　北村教授

単元名「自然とともに暮らそう」（２５時間）

【ねらい】
昆虫や植物を育てたり観察したりする活動などの体験活動を通して、自然に興味をもち、進んでかかわることができる。

【学びに火をつける】
○ヤゴ救出作戦を行い、昆虫に興味をもち調べようとする。
【調べる】
○季節の昆虫や植物はどのような特徴をもっているのか調べる。
【まとめる】
○調べたことをもとに、生き物を飼育したり観察したりしたことをまとめる。
【つたえ合う】
○ヤゴを育ててトンボに羽化させたことなど新聞にまとめ発表する。

【地域人材・関係機関】
○こうとうビオトープネットワーク

単元名「食べ物から見える世界」（２５時間）

【ねらい】
大豆はどのような形に姿を変え私たちの生活に役立っているかについて興味をもち、課題を設定し調べ、よりよい食生活を考える。

【学びに火をつける】
○毎日の食事の中には、大豆や大豆製品が使われていることを知り、大豆はどのように変身するのか、どんな種類があるのかなどを考える。
【調べる】
○豆腐屋の見学やゲストティーチャーの話を聞いたり、家庭や店での調査活動を行ったりして、自分のテーマを調べる。
【まとめる】
○見学したことや調査したことや体験したことをまとめる。
【つたえ合う】

【地域人材・関係機関】
○美濃屋　○いとうファーム
○農文協プロダクション
○キッコーマン○東成社○おたまや

第３学年 総合的な学習の時間 学習指導案

第３学年　１組 ３０名　２組 ３０名

１　単元名「食べ物から見える世界」

２　単元の目標

大豆はどのような形に姿を変え私たちの生活に役立っているかについて興味をもち、課題を設定することができる。

栽培、観察、体験、インタビューなどの方法を取り入れて、大豆の栽培から加工までの過程意欲的に調べることができる。

調べたことを相手に分かるようにまとめたり伝えたりすることができる。

大豆の良さと自分たちの「食生活」との関係を考え、健康な生活を送るための意識をもつことができる。

３　評価規準

問題解決的な学習で育てたい力（ＥＳＤで育てたい力）	学習過程	重視する能力と態度
問題を見出す力（批判的に思考判断する力／コミュニケーションを行う力）	学びに火をつける	・毎日の食事の中には、大豆や大豆製品が使われていることを知り、大豆はどのように変身するのか、どんな種類があるのかなどを考えることができる。
計画を立てる力（多面的・総合的に考える力）	調べる	・大豆の加工過程や種類、歴史などをどのような方法で調べるのか、計画を立てることができる。
問題を追究する力（コミュニケーションを行う力）		・家庭の食事や店ではどのような大豆製品が扱われているのか調査活動を行い、分かったことや疑問点などを記録しながら、調査をすることができる。
振り返る力（批判的に思考判断する力）	まとめる	・自分や友だちの行った大豆を調べる活動を振り返り、成果と課題に気付くことができる
分かりやすく表現する力（多面的・総合的に考える力）	つたえ合う	・自分の考えを相手に分かりやすく伝えるために、工夫して発表することができる。
実生活に活かす力（未来像を予測して計画を立てる力／コミュニケーションを行う力）		・大豆などの食材について調べたことを効果的に学校や地域などに広めるため、それぞれの役割に応じて計画を立て、発信することができる。
人と関わる力		・友だちや地域の人々の良い考えに気付き、自分の考えと比べることができる。

４　単元について

（１）単元観

本単元は、国語科、調べて発表しよう「すがたを変える大豆」の発展的な学習である。国語では、「すがたを変える大豆」という資料を通して、大豆がどのように変身するのかを学習する。しかし、大豆からいろいろなものがつくられることは分かっていても、子どもたちは日常的に買い物や料理をしていないため、実感は伴っていない。

本単元では、大豆がどのように変身するのかを調べるだけではなく、キッコーマンの出前授業で醤油づくりについて学んだり、育てた大豆を使って豆腐作りを行ったり、家庭や店での調査という体験を伴った理解を図ったりすることで、多くの料理に材図が使われ和食を支えていることを十分に考えさえていきたい。

また、「八名川まつり」で校内の児童に一部を体験してもらうことで、自分の中の学びを学校や地域社会に広げていこうとする実践的な態度も育んでいきたい。

（２）児童の実態

本学年には穏やかで控えめな児童が多く、話し合い活動においては一部の児童を除いて発言をためらう場面がよく見られる。そこで発言しやすくなるように、意見を出しやすい課題やペアやグループで話し合う時間を設けるなどして、手立てを充実させた。

本学年の児童は、春に一人一鉢大豆の栽培を始め、水やりや追肥、草取りなどのお世話を経て、現在収穫の時期を迎えている。１，２年生の生活科においての動植物に愛情を持って最後まで大事に育てようという態度が見られる。

大豆に関しては、姿を変えるという事は日常の食生活の中で少しは理解しているが、それが昔から日本の食卓を大きく支えてきていることはよく分かっていない。また、暮らしが便利になったため、大豆そのものを家庭で加工することは少なくなり、加工の場面を目にすることは難しいと言える。

（３）指導観

探究的な学習を行うにあたって大切なのは、実体験をもとに、自分の考えをまとめたり、発表したりすることである。そこで、学習過程の各場面において、様々な活動の場を設定し、体験の充実を図ることで、子どもの言語活動を充実させていきたいと考えた。

「学びに火をつける」の場面では、大豆と給食の献立とのかかわりを通して、課題を設定させる。その後の「調べる」場面では、見学や体験、インタビュー、図書やパンフレットなどの読み取りなど、多角的な調べ活動を行う。また、外部機関を招いて出前授業を行う。

「まとめる」の場面では、八名川まつりでの校内や地域への発信を行うことにしている。

このように、外部機関と連携した体験を充実することで、子ども達に具体的なイメージをもたせ、自分の言葉で考えたり、まとめたりすることができるようにしていきたい。

日本人の生活と深く関わる大豆に目を向けて調べ学習をすることで、子どもたちは大豆が生活に欠かせない大切な作物であることを意識することができると考えた。また、その後の他の食材の学習を通して、これからの自分や自分の家族の食生活を見直し、健康を考えさせたい。

５　研究主題に迫るための手立て

（１）学びに火をつける導入の工夫

・課題設定の前段階として、大豆の栽培や観察の活動を通して、大豆に対する親しみや関心・意欲を高めた。

・給食の献立から、大豆と食生活の関わりを意識させ、様々なものに変身する大豆のよさを感じさせられるようにした。

（２）考えを高める交流の工夫

・掲示…「交流コーナー」を作り、各グループの発見を共有できるようにする。このことで、他のテーマであってもその気づきをヒントにしたり、お互いの考えを交流するきっかけとしたりする。

・話し合い…教師がモデリングを行う。話し合いの場でのイメージマップの利用。家庭やお店で調査した時には写真や大豆が使われていることが分かる包装容器なども活用。

・伝え合う…多様な表現方法を選択させる。スピーチ、演劇、紙芝居、記録文、ポスター、実物、広告（チラシ)、ＶＴＲなど。

6. 指導計画　第3学年　総合的な学習の時間

単元名「食べ物から見える世界」　全 25時間

学びに火をつける → **調 べ る** → **まとめる** → **つたえ合う**

①問題に気づかせる　（１時間）

学習活動　原材料が同じではあるが、違う物に生まれ変わる物があることを知る。

T：お米はどのように変身したのか考えよう。
C：かたさが違うのはなぜかな。

留意点　現物を見せながら、その変身していく過程が想像できるようにする。

学習活動　資料を基に、どのようなものに変身したのかを知り、どのようなことを考えたのかを文章にまとめる。

留意点　共通した資料を使うことで、米の加工についての知識の個人差をなくす。また、自分の考えを書くことで、自分の疑問や考えをはっきりさせる。

②火をつける　（２時間）

学習活動　いろいろなものに変身する大豆のひみつをさぐろう。

留意点　大豆はどのように変身するのか、どんな種類があるのかなど調べたいという強い思いをもたせる。

（本時）

③テーマを決める　（２時間）

学習問題　大豆にはどのようなひみつがあるのだろうか。

留意点　育ち方、種類、加工品、食事など項目に分け、調査内容を決める。

評価　問題を見出す力

④計画する（１時間）

学習活動　調べるテーマを決め、どのように調査するのかを計画を立てる。

T：大豆には、様々なものに変身する力があるようです。大豆の秘密をどのような点から考えてみたいですか。
C：大豆がどのように醤油に変わるのかを探したいです。
C：大豆の種類やどこで作られているかを探したいです。
C：大豆がいつ頃から食べられているのか、歴史を探りたいです。

留意点　大豆についての課題を解決した後、他のすがたを変える食材について調べることを知らせる。

評価　計画を立てる力

⑤調べる　（６時間）

学習活動　自分で決めたテーマについて、図書資料・インターネットなどで調べる。

留意点　自分が興味をもったテーマについて、小グループを作って調べさせ、そこから考えたことや疑問などもまとめる。

学習活動　家族と買い物に行ったときに、選んだ食材を使った製品がどのくらいあるのかを調べる。

留意点　実際にお店に行くことで形は変わってもその食材が使われている物がある事に気づかせる。

評価　問題を追究する力

⑥まとめる・練り直す　（６時間）

学習活動　学年での意見交換会を行う。

C：家族に聞いたことや自分たちが発見したことを、みんなにも伝えたいな。
C：このまま伝えるよりも、家族の意見をもっと取り入れてからまとめた方がいいと思うよ。

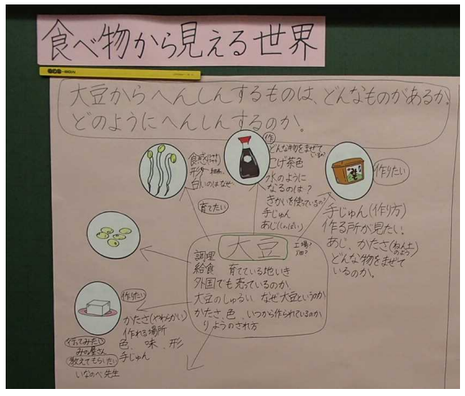
留意点　発表会ではなく、よい意見交換ができるような視点をもたせる。

学習活動　意見交換会をふりかえる。

C：発表する内容は、もう少し詳しく調べた方が伝わりやすいようだよ。
C：○○のように具体的な資料があった方が分かりやすいと思うな。

留意点　聞き手が理解しやすい発表内容を意識させる。

評価　分かりやすく表現する力
評価　振り返る力



⑦つたえ合う・取り組む　（７時間）

学習活動　「やながわまつり」でみんなにつたえよう

留意点　いろいろな年齢の人にも伝わるような発表内容や方法を意識させる。

学習活動　「やながわまつり」を終え、考えたことをまとめる。

留意点　来場者に書いてもらったアンケートをもとに、大豆が日本人の生活になくえてはならないものであることや、そのよさを再認識させる。

評価　実生活に活かす力

【地域・外部機関との連携】
・キッコーマン（東成社）
・いとうファーム　・農文協プロダクション
・日本豆類基金協会

〇本時の指導（２　/２５時間）

（１）目標　様々なものに姿を変える大豆に対して、どのように変わるのか調べたいなどという関心をもつことができる。

（２）展開

問題解決の過程	火をつける		
	〇提示された物が何であるか、またどのように加工された物であるのかを話し合う。	〇提示された献立の中に大豆もしくは大豆製品があるか、またどのように加工された物であるのかを話し合う。	〇大豆のことで疑問に思ったこと、知りたくなったことなどを話し合う。
	【グループごとの話し合い】 ・お米が何にどのように変身したのかを思い出させる。 【児童の活動】 ◎米の加工物名を書き、どのように加工された物かを話し合う。 T：前回は、お米の変身を学習しました。どのようなものがありましたか？ C：炊くとご飯になります。 C：粉にして、こねて、お餅になります。 C：お餅にもなります。 T：そうですね。では今日みんなで考えていく変身はこれです。 （醤油と豆乳を提示する。） C：醤油だ！　あと牛乳！ C：牛乳と色が違うよ。豆乳だよ。 C：豆乳も大豆から出来てるんだよ。だから醤油と材料が同じ。 T：そうです、では原料になる大豆を見たことはありますか？ C：育てた大豆から収穫できました。 C：見たことがない。枯れてしまった。 T：みんなが予想したとおり、醤油も豆乳も、大豆から出来たものです。大豆もいろいろな変身をするのですね。それでは大豆の変身をさぐるため、給食の献立を調べてみましょう。	【グループごとの話し合い】 ・大豆が何にどのように変身したのかを話し合う。 【児童の活動】 ◎提示された献立に大豆製品がどのように使われているかを話し合う。 T：グループで献立の中に大豆がどのように使われているのか、話し合えたようですね。それでは、どのように使われているか、意見を出し合いましょう。 C：９月２４日（火）の「だいずの炒め煮」は、大豆がそのまま使われていると思います。 C：９月２６日（木）の「お味噌汁」は、お味噌を使っているから大豆が変身した物だと思います。 C：２５日（水）の「インゲン豆入りスープ」の「インゲン豆」は大豆とは違うのかな。 T：給食では、大豆を使った 献立が多くあるようですね。献立の中の大豆を考えてみましたが、どんなことを思いましたか。 C：思っていたよりも大豆をたくさん食べているなと思いました。 C：豆にはいろいろあるんだなと思いました。 【留意点】 ・順番に児童の意見を聞きながら、大豆から変身した物であることを導いていく。初めから正解は言わない。	【テーマ決めの動機付けを行う】 ・大豆のどんな秘密を探りたくなったのかを話し合う。 T：大豆には豆腐や味噌に変身するだけではなく、他の物にも変身する力がありそうです。この姿を変えることのできる大豆のことで、どんなことを知りたいなと思いましたか。 C：どうやって変身するのかな。 C：どんなものに変身するのかな。 C：大豆にはどんな種類があるのかな。 C：大豆はどこで作られているのかな。 T：では、次回からは大豆のひみつについて調べていきましょう。 【留意点】 ・出てきた疑問を項目に分け、視覚的に見やすくする。 ・疑問は多岐にわたってもよいこととする。